

特別栽培米「いすみっこ」共同巡回の開催

～生育診断を生かした安定生産を目指して～

夷隅農業事務所改良普及課 令和3年8月18日発

いすみ市環境保全型農業連絡部会は、6月21日に、外部講師を招いて有機稲作の講義と共同巡回を行いました。各生産者のほ場で、稲株や土壌の状態を確認し、生育状況の批評や今後の栽培管理の検討を行い、部会員の栽培技術の向上を図りました。同部会では、化学肥料・化学合成農薬を栽培期間中に使用しない米づくりに取り組んでいます。部会員21名で、約24haを作付し、そのうち約10haで有機JAS認証を受けています。このお米は、「いすみっこ」というブランド名でJAいすみから販売されています。また、平成29年からは、いすみ市内の小中学校の給食で使用される米飯全量が「いすみっこ」になり、地域の未来を担う子どもたちへの安全安心なお米の提供と食育に貢献しています。令和3年産からはパルシステムへの有機JAS認証米の出荷も開始されます。今後も農業事務所では、持続可能な農業拡大に向けて、有機農業の取組を推進していきます。



熱心に講義を聴く生産者



稲株の生育状況を確認し合う生産者